

守ろう！オホーツク 紋別-羽田 直行便



昨年7月1日からスタートした、雄武町オホーツク紋別空港利用促進助成制度。これまでたくさんの町民のみなさんをはじめ、故郷への帰省者や観光客にご利用いただいております。そこで今月号では、問い合わせの多い手続きに関することや本制度の目的と効果、必要性などについて、Q&A方式でご紹介します。

雄武町オホーツク紋別空港利用促進助成制度 Q&A

身分証明書と ピンクの搭乗券を お忘れなく！

財務企画課 企画調整係 小俣博和



Q1 助成申請はいつ行うの？

A1 助成金の申請は事後申請となります。紋別-羽田間の航空機を利用して60日以内に行ってください。

Q2 助成金額はいくらですか？

A2 片道1万円、往復2万円です。小児料金の適用を受けたお子さまはその半額となります。

Q3 申請書はありますか？

A3 役場窓口(財務企画課)または、町ホームページから入手できます。

Q4 添付書類は何か必要？

A4 搭乗者の氏名が記載されたピンク色の搭乗券と住所が分かる公的身分証明(運転免許証・保険証・住民票の写し等)が必要です。

Q5 搭乗券を紛失してしまったのですが？

A5 全日空が発行する「搭乗証明書」を取得して添付していただければ搭乗券とみなします。

Q6 航空運賃にはさまざまな種類がありますが、どれも助成対象になるのでしょうか？

A6 基本的には助成対象です。通常運賃や往復、旅割、旅行代理店のツアーやパック商品も対象になります。ただし、助成金額を下回る商品は対象外です。

Q7 町外から雄武町に来る人も助成対象と聞きました。なぜ町民以外にも助成金を出すのですか？

A7 本制度を創設した根本的な理由として1時間圏内にある紋別空港の東京直行便がこれからのまちづくりに非常に重要な役割を果たすものと考えているからです。従いまして、まずは町民のみさんの負担軽減策によって紋別空港の利用を促進します。加えて羽田直行便の路線維持のためには、人口が集中する首都圏からの帰省者や観光客にも助成することで、利用者的大幅増を図り、実効性の高い対策を行う必要があります。

Q8 なぜ東京直行便が必要なのでしょう？

A8 日本全体が人口減少時代に突入しました。とりわけ過疎地域にとっては、定住対策とともに交流人口の拡大が地域振興のカギを握っています。交通費が高くてなかなか帰省できない人や地域医療のための医師確保の面でも、近くに東京直行便があるのとないのでは、大きな影響を及ぼします。直行便がなくなってしまうので、とても手遅れなのです。

Q9 町民と帰省者、観光客の利割割合はどのくらいですか？

A9 今年3月末までの推計で町民が約15%、帰省者等も約15%、観光・ビジネス客が約70%となる見込みです。

Q10 観光客やビジネス客への助成を考えると多額の事業費がかかります。町の財政が心配です。

A10 本年度の助成総額の見込みは最大で約7千万円です。このうち観光・ビジネス客への助成が約4千5百万円と見込まれ、この分には「過疎対策事業債」を充当し、これはいわゆる町の借金ですが、借り入れた分の7割が「地方交付税」となって戻ってくる大変有利な制度です。過疎地域の疲弊は国家全体の衰退につながることから、地域交通・地域医療等の確保のために国が認める融資制度なので、これを有効活用し、町財政の負担軽減に努めていきます。

Q11 助成制度がもたらす経済効果はどれくらいありますか？

A11 町民のみなさんの旅行や親戚などの帰省は、思い出を作ったり絆を深めたり、福利厚生の目的ですのでご理解いただけると思います。観光客等に対しては約4千5百万円を2千250人に

助成する見込みとなりますが、直接的な経済効果は3千3百万、4百万円、経済波及効果としては3千8百万、9百万円、雇用者所得として約1千万円が発生し、3人の雇用誘発が図られます(町試算)。また雄武町を関東方面に売り込むためには一般的な広告費用(新聞やCM)ですと数千円から億単位の経費がかかりますが、助成制度自体が効率的な宣伝となつていきますので、信頼度の高い口コミによる知名度向上効果が期待されます。

Q12 ホテル日の出岬の利益にかならないような気がします。

A12 ご質問のとおり、現状として直接的な収入はホテル日の出岬が大半を占めていますが、第3セクターで運営するホテル日の出岬は町民みなさんの財産です。例えばホテルの食事に関する仕入れ率は9割が地元ですし、従業員は雄武町民です。ただ今後は、せっかく雄武町までたくさん観光客に来ていただいておりますので、日の出岬以外、市街地の旅館や飲食店、農林漁業生産者や団体等にも直接的な経済効果が生まれるような仕組みづくりを進めていきます。

Q13 この助成制度は3月31日まで期間が短いです。平成25年度以降は継続しないのですか？

A13 この助成制度は3月31日まで期間が短いです。平成25年度以降は継続しないのですか？

A13 町民のみなさんに対する助成は、町総合計画後期基本計画の期間(H25年度、H29年度)は助成単価を変えずに継続する予定です。ただし、町外から雄武町にお越しいただく方への助成については単価の見直しも含めて、より経済効果が高まるよう改善に努めます。

Q14 観光客からの評価が気になります。どんな声が寄せられていますか？

A14 観光客の多くはツアーで来られています。ツアー会社の満足度調査では、道北観光29コース中、1位を獲得しています。また、ホテルのアンケートでは「北海道らしい素朴な風景や前浜料理、日の出、温泉に癒された」「別な季節にまた来たい」「雄武町の存在を初めて知った」という声が多い一方で「料理が多すぎる」「野菜が少ない」「売店の委託販売の充実を」といったご指摘も受けています。

Q15 なぜ雄武町だけが単独で助成制度を設けたのですか？

A15 住民割引制度は紋別市も行ってきましたが、紋別市や雄武町の取組みによって、その他遠く地域の町村も空港存続に対する機運が高まり、新年度から住民割引を実施する動きが見られます。雄武町だけが町外からの宿泊者も対象にしていますが、過疎化・少子高齢化という厳しい状況に直面

し、定住対策だけでなく、交流人口の拡大、地場産業の体力向上のための観光の推進によって、癒しを求めている関東方面の方々を域外マーケットと捉えて町経済に潤いをもたらすための政策です。観光の空白地帯ともいわれる紋別以北に位置する雄武町にとって、羽田直行便を空路とするオホーツク紋別空港は、これからのまちづくりに欠くことのできない拠点です。で、今後はさらに、町民のみなさんや産業団体と知恵を出し合い、また近隣市町村との連携も視野に入れながら取組みを進めていきたいと考えています。

Q16 搭乗者数が増えないうちになつてしまつたの？

A16 2年前から、11月、翌年1月の約3カ月間、直行便が休止し千歳経由便化を強いられていました。搭乗者が増えない、逆に減つてしまつと、経由便期間の延長や、直行便そのものが廃止されてしまう危機に陥る可能性もあり、四半世紀前に鉄路を失ったわが町にとって相当な痛手となるでしょう。

申請窓口・お問い合わせ
電話 84・2121
Eメール kikaku@town.oumu.hokkaido.jp
《財務企画課企画調整係》

財政にやさしい
過疎対策事業債
を使っています。
財務企画課 財政係 鎌田夕菜

